



## DIGITAL MIXING CONSOLE

---

CL5

CL3

CL1

QL5

QL1

## CL/QL シリーズ V5.1 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、CL5/CL3/CL1 および QL5/QL1 ファームウェア V5.1 で追加 / 変更された機能を中心に説明します。  
CL5/CL3/CL1 および QL5/QL1 取扱説明書、リファレンスマニュアルと併せてご利用ください。

### NOTE

- ・この追補マニュアルでは、CL5 で説明をしています。
- ・CL3/CL1 または QL5/QL1 の場合、画面によってその機種にないチャンネルやフェーダーは表示されません。

# 目次

<b>I/O デバイスと外部ヘッドアンプ .....</b>	<b>3</b>
サポートデバイスの追加 .....	3
外部ヘッドアンプをリモート操作する .....	3
ワイヤレス機器をリモート操作する .....	5
AMP をリモート操作する .....	7

## お知らせ

本製品はオープンソースソフトウェアを使用しています。使用しているライセンスの情報は、ダウンロードファイルに収録されている **\*\*\***(製品名)\_OSSLicense\_j.pdf に記載されています。

## I/O デバイスと外部ヘッドアンプ

サードパーティおよび NEXO、ヤマハ製品のデジタルワイヤレスレシーバーやプロセッサなどの Dante デバイスに対応しました。

- Sony DWR-R03D DWX デジタルワイヤレスレシーバー
- Stagetec NEXUS(XDIP) マルチチャンネル I/O ボード
- NEXO NXAMPmk2 パワード TD コントローラー
- Yamaha DZR-D シリーズ パワードラウドスピーカー  
DXS XLF-D シリーズ パワードサブウーファー  
MRX/MTX シリーズ シグナルプロセッサ

### サポートデバイスの追加

DANTE SETUP 画面の DEVICE MOUNT ページにてマウントできます。



リモートコントロールできるデバイスにはインジケータ ( **REMOTE** ) が表示されます。  
NXAMPmk2 は Dante カード(NXDT104mk2)にてリモートコントロール対応しています。

### 外部ヘッドアンプをリモート操作する

HA リモートコントロールできる製品が追加されました。

- Stagetec NEXUS(XDIP) マルチチャンネル I/O ボード
- Yamaha MRX/MTX シリーズ シグナルプロセッサ

### I/O DEVICE 画面(I/O ページ)



- ① **+48V インジケータ**  
ポートごとの +48V ファンタム電源のオン / オフ状態を表示します。
- ② **GAIN ノブ**  
I/O デバイスの HA のゲイン量を表示します。この画面は表示のみで、値を変更することはできません。
- ③ **HPF インジケータ**  
ポートごとのハイパスフィルターのオン / オフ状態を表示します。
- ④ **コントロールステータスインジケータ**  
デバイスのコントロール状態を表示します。
- ⑤ **SYSTEM/SYNC インジケータ**  
Dante のエラー / 警告 / インフォメーションの各メッセージを表示します。
- ⑥ **OUTPUT PATCH ボタン**  
I/O デバイスとしてチャンネル数の多い機器を選択しているときに表示されます。押しと OUTPUT PATCH 画面を開きます。

## I/O DEVICE HA 画面

I/O DEVICE 画面(I/O ページ)で、I/O デバイスを選んで押すと表示されます。I/O デバイスの HA をリモート操作できます。

### ■ Stagetec NEXUS(XDIP) の場合



#### ① +48V ボタン

チャンネルごとのファンタム電源のオン / オフを切り替えます。

#### ② GAIN ノブ

I/O デバイスの HA のゲイン量を表示します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズ) または TOUCH AND TURN ノブ (QL シリーズ) を使います。

#### NOTE

CL/QL シリーズよりも設定範囲が広い機器の場合は、CL/QL シリーズから設定できない値があります。同様に、接続した機器側で設定した値が CL/QL シリーズの設定範囲外の場合は、近似値や限界値で表示されます。

#### ③ FREQUENCY ノブ / HPF ボタン

I/O デバイスの HA に内蔵されているハイパスフィルターのオン / オフ切り替え、およびカットオフ周波数の調節を行ないます。FREQUENCY ノブを押して選択すると、対応するマルチファンクションノブ (CL シリーズ) または TOUCH AND TURN ノブ (QL シリーズ) を使って調節できます。

#### NOTE

CL/QL シリーズと設定値の変化の仕方が異なる機器の場合は、カットオフ周波数が近似値で設定されることがあります。

### ■ リモートコントロール設定

#### ・ MTX/MRX シリーズ

MTX/MRX シリーズをリモートコントロールするには下記の設定が必要です。

#### 手順

1. コンピューターに MTX-MRX Editor をインストールする。
2. MTX-MRX Editor ユーザーガイドに沿って MTX/MRX シリーズと MTX-MRX Editor を接続する。
3. MTX-MRX Editor の System メニューにある Remote Control ダイアログで Remote (RS-232C) BIT RATE: 38400 を設定する。
4. CL/QL シリーズの NETWORK 画面 (FOR DEVICE CONTROL ページ) のサブネットを MTX/MRX シリーズのサブネットと合わせる。
5. MRX シリーズはフリーコンポーネントのため、MRX Designer を使用して ANALOG IN コンポーネントを配置する。

#### ・ Stagetec NEXUS(XDIP)

NEXUS(XDIP) をリモートコントロールするにはネットワークの設定が必要です。詳細は Stagetec 社へ問い合わせいただくか、あるいはウェブサイトをご参照ください。

また、CL/QL シリーズからのリモート設定内容を有効にするには、NEXUS にて XDIP の内部ルーティングを正しく設定してください。

## ワイヤレス機器をリモート操作する

リモート操作できるワイヤレス製品が追加されました。

- Sony DWR-R03D DWX デジタルワイヤレスレシーバー

### I/O DEVICE 画面(WIRELESS ページ)



#### ① 接続状況表示

送信機のコントロールが可能かどうかを表示します。

#### ② チャンネル名称 (送信機側)

送信機側で設定したチャンネル名称が表示されます。

#### ③ TX.ATT ノブ

送信機側で設定したゲイン量をノブで表示します。この画面では表示のみで、値は変更できません。

#### ④ TX.ATT

送信機のゲイン量を表示します。

#### ⑤ チャンネル名称 (受信機側)

受信機側で設定したチャンネル名称が表示されます。

#### ⑥ 周波数

現在設定されている RF シグナルの周波数が表示されます。

#### ⑦ オーディオレベルインジケータ

受信機の音声信号レベルがオーバーロードになったときに点灯します。

#### ⑧ MUTE インジケータ

受信機の音声信号のミュート状態 (オン / オフ) を表示します。

#### ⑨ シグナルクオリティメータ

受信した RF シグナルの品質を表示します。縦軸が品質、横軸が時間を表しており、1 秒ごとに接続状況の表示が更新されます。送信機から離れたたり、妨害電波の影響で RF シグナルの品質が下がるとバーグラフが低くなります。

#### ⑩ RF (Radio Frequency) シグナルメータ

表示されているバーの数で RF シグナルのレベルを表示します。右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。RF シグナルメータは、4 Diversity モードのときは A ~ D のうち、最も強いレベルのものが表示されます。

#### NOTE

バーの数と実際の RF シグナルレベル数値の関係については、DWR-R03D のマニュアルをご参照ください。

#### ⑪ 電池インジケータ

表示されているバーの数で電池残量を表示します。

#### ⑫ コントロールステータスインジケータ

デバイスのコントロール状態を表示します。

#### NOTE

- 受信機側のコントロールが可能な状態になると、受信機側のパラメータ値がコンソール側に送信されます。
- 同時にリモート操作する台数が増加していくとメータの更新頻度が低くなります。

## I/O DEVICE EDIT 画面

I/O DEVICE 画面(WIRELESS ページ)で、ワイヤレス機器を選んで押すと表示されます。チャンネルネームやゲインなどを設定します。



### ① 接続状況表示

送信機のコントロールが可能かどうかを表示します。

### ② チャンネルネーム (送信機側)

このボタンを押すと送信機側のチャンネルネームを設定する NAME 画面が表示されます。

### ③ TX.ATT ノブ

送信機のゲイン量を設定します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズ) または TOUCH AND TURN ノブ (QL シリーズ) を使います。操作できない場合、ノブが表示されません。

### ④ TX.ATT

送信機のゲイン値を表示します。

### ⑤ チャンネルネーム (受信機側)

このボタンを押すと受信機側のチャンネルネームを設定する NAME 画面が表示されます。送信機側で設定したチャンネルネームが表示されます。

### ⑥ 周波数

現在設定されている RF シグナルの周波数が表示されます。

### ⑦ RX.LEVEL レベルメーター

受信機の入力レベルを確認できます。

### ⑧ MUTE ボタン

受信機の音声信号をミュートします。

### ⑨ シグナルクオリティメーター

受信した RF シグナルの品質を表示します。縦軸が品質、横軸が時間を表しており、1 秒ごとに接続状況の表示が更新されます。送信機から離れたり、妨害電波の影響で RF シグナルの品質が下がるとバーグラフが低くなります。

### ⑩ RF (Radio Frequency) シグナルメーター

表示されているバーの数で RF シグナル (A/B チャンネル) のレベルを表示します。右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。RF シグナルメーターは、4 Diversity モードのときは A ~ D のうち、最も強いレベルのものが表示されます。

### NOTE

バーの数と実際の RF シグナルレベル数値の関係については、DWR-R03D のマニュアルをご参照ください。

### ⑪ 電池インジケータ

表示されているバーの数で電池残量を表示します。

### ⑫ Mode インジケータ

4 Diversity Mode の状態を表示します。動いていない場合は「4 Diversity Mode:off」と表示されます。

### ⑬ PORT ASSIGN タブ

タブを切り替えることで、実際の入力信号がアサインされているポートを指定する画面に変わります。

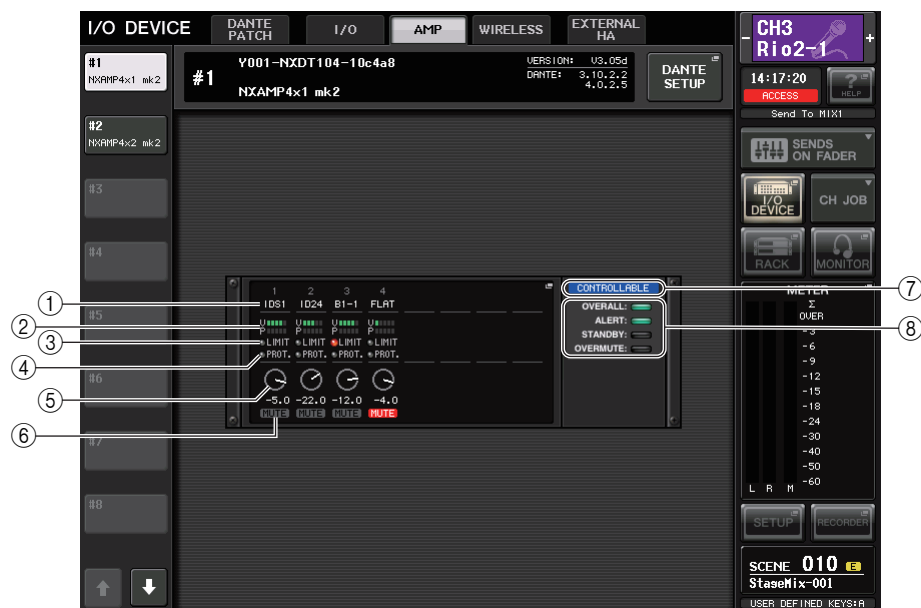
## AMP をリモート操作する

リモート操作できる製品が追加されました。

- NEXO NXAMPmk2 パワード TD コントローラー
- Yamaha DZR-D シリーズ パワードラウドスピーカー  
DXS XLF-D シリーズ パワードサブウーファ―

## I/O DEVICE 画面(AMP ページ)

### ■ NEXO NXAMPmk2 の場合



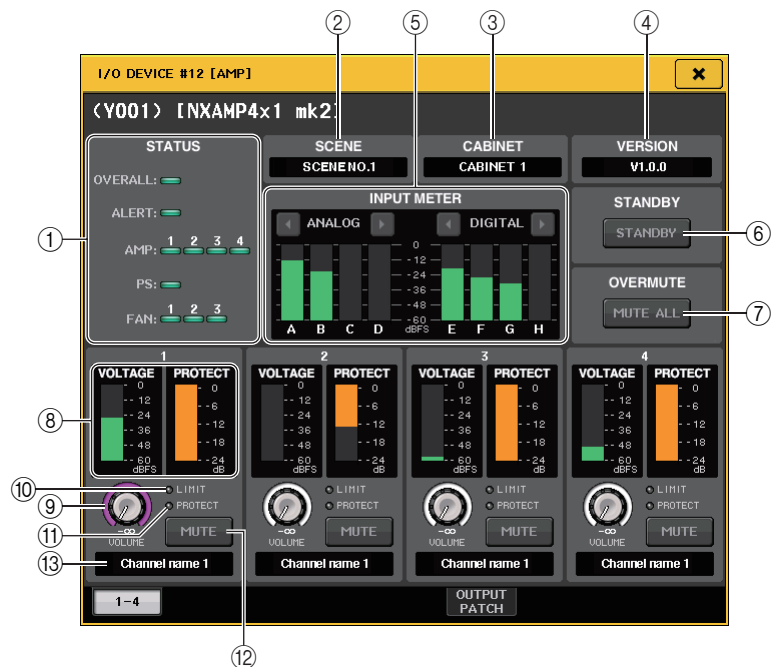
- ① **チャンネルネーム**  
チャンネルネーム (NXAMP ではスピーカープリセット名) が表示されます。
- ② **出力レベルメーター**  
Voltage(アンプ出力)と Protect(ゲインリダクション)のレベルが表示されます。
- ③ **LIMIT ステータスインジケーター**  
電源やアンプ保護のためのリミッターがかかっている間、点灯します。
- ④ **PROTECT ステータスインジケーター**  
スピーカー保護のリミッターがかかっている間、点灯します。
- ⑤ **VOLUME 設定値**  
ボリュームを表示します。

- ⑥ **MUTE インジケーター**  
現在設定されているミュート状態を表示します。
- ⑦ **コントロールステータスインジケーター**  
デバイスのコントロール状態を表示します。
- ⑧ **デバイスステータスインジケーター**  
デバイスの状態を表示します。

## I/O DEVICE EDIT 画面

I/O DEVICE 画面 (AMP ページ) で、I/O デバイスを選んで押すと表示されます。アンプやスピーカーをリモート操作できます。

### ■ NEXO NXAMPmk2 の場合



#### ① STATUS インジケータ

デバイスの状態を表示します。

ステータス	インジケータ表示
OVERALL	デバイスの総合的なステータス
ALERT	アラート
AMP	各アンプチャンネルの動作ステータス
PS	電源ユニットの動作ステータス
FAN	各 FAN ユニットの動作ステータス

※ ALERT のインジケータ表示は緑と赤のみ。アラートが発生するとインジケータが赤に変わり、画面下部にアラート内容が表示されます。

#### ② SCENE

リコールされたシーン番号やタイトルが表示されます。

#### ③ CABINET

NXAMP で選択されている NEXO Setup の名称が表示されます。

#### ④ VERSION

デバイスのファームウェアバージョンが表示されます。

#### ⑤ INPUT METER

入力しているアナログ入力、デジタル入力、両方の入力レベルが表示されます。

#### ⑥ STANDBY ボタン

スタンバイモードのオン / オフを切り替えます。

#### ⑦ OVERMUTE ボタン

オーバーミュート (全チャンネルのミュート) のオン / オフを切り替えます。

#### ⑧ 出力レベルメータ

チャンネルの出力レベルが表示されます。

#### ⑨ VOLUME ノブ

チャンネルボリュームを設定します。

#### ⑩ LIMIT インジケータ

電源やアンプ保護のためのリミッターがかかっている間、点灯します。

#### ⑪ PROTECT インジケータ

スピーカー保護のリミッターがかかっている間、点灯します。

#### ⑫ MUTE ボタン

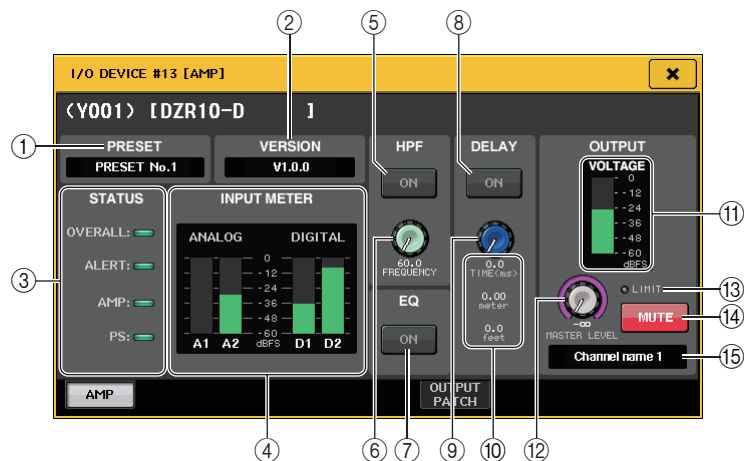
チャンネルのミュートのオン / オフを切り替えます。

#### ⑬ チャンネルネーム

チャンネルネーム (NXAMP ではスピーカープリセット名) が表示されます。



## ■ Yamaha DZR-D シリーズ、DXS XLF-D シリーズの場合



### ① PRESET

設定されたプリセット番号やタイトルが表示されます。

### ② VERSION

デバイスのファームウェアバージョンが表示されます。

### ③ STATUS インジケータ

デバイスの状態を表示します。

ステータス	インジケータ表示
OVERALL	デバイスの総合的なステータス
ALERT	アラート
AMP	アンプチャンネルの動作ステータス
PS	電源ユニットの動作ステータス

緑：正常に動作しています  
 黄：障害を検知しました  
 橙：一時的に動作していません  
 赤：機能が復帰できない状態です

※ ALERT のインジケータ表示は緑と赤のみ。アラートが発生するとインジケータが赤に変わり、画面下部にアラート内容が表示されます。

### ④ INPUT METER

入力しているアナログ入力、デジタル入力、両方の入力レベルが表示されます。

### ⑤ HPF ON ボタン(DZR-D シリーズのみ)

HPF のオン / オフを切り替えます。LPF の場合は非表示で常時オンになります。

### ⑥ HPF/LPF FREQUENCY ノブ

DZR-D シリーズは HPF 周波数、DXS XLF-D シリーズは LPF 周波数を設定します。

### ⑦ EQ ON ボタン

EQ のオン / オフを切り替えます。

### ⑧ DELAY ON ボタン

ディレイのオン / オフを切り替えます。

### ⑨ DELAY ノブ

ディレイ時間を設定します。

### ⑩ DELAY SCALE

ディレイ時間を時間(TIME)と距離(meter, feet)で表示します。

### ⑪ 出力レベルメーター

スピーカーの出力レベルが表示されます。

### ⑫ MASTER LEVEL ノブ

出力レベルを設定します。

### ⑬ LIMIT インジケータ

電源やアンプ保護のためのリミッターがかかっている間、点灯します。

### ⑭ MUTE ボタン

ミュートのオン / オフを切り替えます。

### ⑮ チャンネルネーム

チャンネルネーム(DZR では LABEL)が表示されます。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト  
<http://www.yamahaproaudio.com/>  
ヤマハダウンロード  
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group  
© 2018 Yamaha Corporation

2018年11月発行 MA-A1